



アドビシステムズ株式会社
141-0032 品川区大崎 1-11-2
ゲートシティ大崎イーストタワー 19F

アドビ、ビデオの未来を示す Creative Cloud のアップデートを NAB 2017 で公開

最新リリースは AI、HDR、VR、モーショングラフィックス、ライブアニメーション、オーディオ向けの新機能を搭載

※当資料は、2017 年 4 月 19 日に米国本社から発表された[プレスリリース](#)の抄訳です。

【2017 年 4 月 20 日】

米国カリフォルニア州サンノゼ発：Adobe (Nasdaq: ADBE) (本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビ) は本日、全米放送事業者協会による放送機器展 NAB の開幕に先駆けて、映画製作者やビデオプロデューサーの作業連携やビデオワークフローの効率化をもたらす [Adobe Creative Cloud](#) ビデオ製品のメジャーアップデートを発表しました。この Creative Cloud リリースは[本日から利用可能](#)で、グラフィックス、タイトル制作、アニメーション、オーディオ編集、アセット共有の新機能に加え、HDR、VR、4K などの最新の映像フォーマットへの対応、Adobe Stock との新たな連携、[Adobe Sensei](#) に基づく先進の人工知能 (AI) 機能を提供します。また、Adobe Summit 2017 で公開された [Adobe Experience Cloud](#) によって、企業は、すべてのスクリーン間をつなぐ映像体験を大規模に展開し、その効果の分析と広告の収益化が可能となります。

技術の進歩と、インパクトのあるパーソナライズされたコンテンツへの消費者ニーズの急増により、ビデオプロデューサーは、ビデオアセットをこれまで以上に素早く制作、提供し、収益化するという要求に直面しています。大規模な映画制作会社から次世代 YouTuber に至るまで、ビデオの制作、作業連携およびビデオワークフロー効率化のための拡張可能なエンドツーエンドのソリューションと、コンテンツを最適化し、その価値をさらに高めることができる強力な分析と広告化のためのツールが求められています。

3 度のアカデミー賞受賞歴を誇り、『ジャングル・ブック』の VFX スーパーバイザーを務めたロブレガート (Rob Legato) 氏は次のように述べています。「『アビエイター』『アバター』『ヒューゴの不思議な発明』などの映画で、早い段階からアドビのすべてのクリエイティブプログラムを私のビジュアライゼーションプロセスの一部として使っています。何年にもわたって技術は着実に進歩しており、その多くは Adobe Premiere Pro と After Effects とのダイナミックリンク、Cinema 4D と After Effects との統合、ネイティブワークフローといった、アドビの画期的なイノベーションによるものです。Creative Cloud は、私のすべての映画製作におけるプリビズ作業や自由な実験の基盤であり、クリエイティブなプロセスを次のレベルに高める機会となっています。」

アドビのデジタルメディア担当バイスプレジデントであるスティーブ ワーナー (Steve Warner) は次のように述べています。「私たちが受け継いできた財産は、複雑な課題を取り上げてシンプ

ルなものにすることであり、これによってユーザーがストーリーテリングや専門的な質の高い作業に集中できるようにすることです。Creative Cloud ビデオ製品の最新リリースは、先進の技術である Adobe Sensei との連携により、頻繁に行う作業を簡単かつ素早く済ませられます。大手メディア所属であれ前途有望な YouTuber であれ、すべてのビデオプロデューサーは、モーショングラフィックスやオーディオの専門知識がなくとも、自身が持つクリエイティブなビジョンを作品に仕上げることができるようになります。」

4月24日から27日にかけてラスベガスコンベンションセンターで開催される今年の NAB では、[アドビブース](#)（サウスホール#SL4010）および140以上のパートナーブースで、本日発表した新機能に関する詳細だけでなく、業界の専門家によるプレゼンテーションとともに体験できます。

制作開始から完成にいたる全段階でクリエイティビティの力となる新機能

Creative Cloud ビデオツールの新機能：

- [モーショングラフィックステンプレート](#)：After Effects で提供されていた機能が Premiere Pro で使えるようになりました。使い勝手のよいテンプレートを使って、美しいタイトル、アニメーション、名前テロップをビデオに追加し、Creative Cloud Libraries で共有できるカスタムのモーショングラフィックステンプレートを作成できます。
- [エッセンシャルサウンドパネル](#)：Premiere Pro に搭載。これまではオーディオエンジニアによる別作業が必要であったようなオーディオのミキシングや音響の向上が可能になります。
- [カメラシェイクデブラー](#)：After Effects に搭載。主にカメラの揺れにより生じるモーションブラー（ブレ）を軽減することで、これまで使えないとされていたような映像素材を使用可能にします。
- [Character Animator \(ベータ版\)](#)：Adobe Photoshop CCやAdobe Illustrator CCで作成された複数のパペットをアニメーション化できるようになりました。また新たなウォークサイクルの追加によってフルボディアニメーションに対応しました。さまざまな新技術によってライブアニメーションの未来を創造し続けています。
- [チームプロジェクト \(ベータ版\)](#)：Creative Cloud グループ版とエンタープライズ版で提供される、安全なクラウドファーストの共同作業ワークフローが新たに Dynamic Link と Adobe Media Encoder に対応。さらに効率化された連携作業環境を構築することができます。
- [アンビソニックオーディオ](#)：Premiere Pro に搭載。最高レベルの VR ビデオ制作対応能力がさらに拡張され、YouTube や Facebook などの VR 対応プラットフォームでもサポートされる空間音声にも対応します。
- [数百のサードパーティ連携](#)：Premiere Pro が Apple の [MacBook Pro](#) の Touch Bar、および [Microsoft の Surface Dial](#) による、タイムラインや、ホットフロートとテキスト値の変更時のシャトルコントロールに対応しました。

Adobe Sensei に基づく機能

アドビの AI とマシンラーニングフレームワークである Adobe Sensei により、Premiere Pro と Audition ではシングルクリックでタイムライン全体のオーディオのラウドネスを自動的に標準化できます。Character Animator では、Adobe Sensei は、複雑なアルゴリズムをリアルタイムで適用し、パペットのリップシンクを完璧にします。Adobe Experience Cloud では、ビデオリコメンデーションエンジンが、数千億のオンラインビデオ消費ポイントから学習し、最も適切

なコンテンツを推奨します。

Adobe Stock との連携

Creative Cloud ワークフローと密接に連携されたことで、4K や HD を含む数百万の Adobe Stock のビデオアセットにアクセスし、アプリケーション内で直接検索し、スクラブ再生できます。[このリリースから](#)、作品を販売したいクリエイターは、Premiere Pro および Adobe Media Encoder 内の[出力先パブリッシングワークフロー](#)で作品を簡単に Adobe Stock に投稿し、世界数百万人のクリエイティブバイヤーに披露することができます。アドビの出力先パブリッシングは主要なソーシャルビデオサイトに対応しており、単一の簡単なステップで、YouTube、Facebook、Twitter および Behance にパブリッシュできます。

Funnelbox の CEO で『Stock Footage Millionaire』の著者でもあるロブ クロッカー (Robb Crocker) 氏は次のように述べています。「私は 10 年以上ストック向けフッターの撮影、編集とアップロードを行ってきました。Premiere Pro から Adobe Stock にストックを直接投稿できる新機能は、非常に価値の高いもので、ストックのアップロードと販売が大幅に速く、簡単になります。この新機能は、ストックフッターの制作者にとって、まさにゲームチェンジャーとなるものです。」

Adobe Stock への Pond5 アセットの導入

また、アドビは本日、Adobe Stock で提供されるビデオをさらに拡張する [Pond5](#) とのパートナーシップを発表しました。ライフスタイル、娯楽、スポーツ、映画のような場面、空撮など、現代的で[需要の高いさまざまなテーマ](#)におけるアーティストの世界的コミュニティから提供される Pond5 ビデオライブラリが加わることで、Adobe Stock はビデオプロデューサーやデザイナーにとって業界最大で最も急成長するコンテンツコレクションとなります。これらはすべて、Creative Cloud アプリケーションにネイティブに連携されます。このパートナーシップの結果として、Pond5 へのコントリビューターも、これまで以上に巨大なクリエイティブバイヤーの市場にアクセスすることができます。(詳細は[こちらのブログ](#)を参照してください)

Adobe Experience Cloud との連携

クリエイティブエージェンシーから媒体社に至るビデオクリエイターのニーズが、データドリブン型の未来を反映して変化したことで、Adobe Experience Cloud は、配信から効果測定、またあらゆるスクリーンでの収益化まで、ビデオのライフサイクル全体にメリットをもたらします。媒体社と放送局は、アドビの [TV Media Management プラットフォーム](#)による分析を活用することで、広告主に対して真の視聴者ベースのターゲティングと、より正確な予測を提供できます。[Adobe Analytics Cloud](#) は、ソーシャルメディアチャンネルにパブリッシュされるビデオコンテンツの効果測定を Premiere Pro の中から行うことを可能とし、動画広告をより高精度にターゲティングし、効果予測します。

[Adobe Advertising Cloud](#) は、従来の TV とデジタル動画広告の間のギャップを埋め、メディアプランニングとバイイングのプロセスを効率化し、ダイナミッククリエイティブ最適化 (DCO) を介してクリエイティブエージェンシーとの連携強化が可能となり、業界最大のサードパーティとの統合により、[動画広告のブランドセーフティを最大化](#)します。

価格および提供時期

NAB で披露される Adobe Creative Cloud の新機能は、CC 2017 の最新バージョンとして本日が

ら利用可能です。Creative Cloud コンプリートプランは月額 4,980 円（税別）より提供しています。詳細は <http://www.adobe.com/jp/creativecloud/video/pro-video-tools.html> を参照ください。Adobe Stock では、<https://stock.adobe.com/jp/plans> から複数のサブスクリプションプランを利用可能です。

アドビについて

アドビは、世界を動かすデジタル体験を提供します。

アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、[Web サイト](#)に掲載されています。

Adobe, the Adobe logo, Adobe Analytics, Adobe Audition, Adobe Media Encoder, Adobe Premiere Pro, Adobe Stock, After Effects, Creative Cloud, Creative Cloud Libraries, Illustrator and Photoshop are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries.

© 2017 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.